

教 育 課 程 等 の 概 要															
(薬学研究科 医療薬学専攻 博士課程 (4年制))															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
医療薬学講義	医療薬学総合講義	1前	2			○			4	1				オムニバス	
	小計 (1科目)	—	2	0	0	—			4	1	0	0	0		
高度専門教育科目	病態解析・薬効制御学分野	病態画像診断学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		薬効分子設計学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		神経内分泌・栄養学特論	1・2後		2		○			1					隔年開講
		神経再生薬学特論	1・2後		2		○			1					隔年開講
		病態解析・薬効制御学演習	1・2後		2			○		3	1				隔年開講・オムニバス
	薬物治療設計・管理学分野	急性期薬物治療管理学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		生体分子解析学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		血漿脂質科学特論	1・2後		2		○			1					隔年開講
		免疫制御薬学特論	1・2後		2		○			1					隔年開講
		薬物治療設計・管理学演習	1・2後		2			○		2					隔年開講・オムニバス
	医薬品解析・開発学分野	抗血栓薬開発学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		食品生化学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		抗体医薬品開発学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		含金属医薬品開発学特論	1・2後		2		○			1					隔年開講
		医薬品解析・開発学演習	1・2後		2			○		2	2				隔年開講・オムニバス
	社会環境薬学分野	腫瘍薬学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		がん予防学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		精神衛生薬学特論	1・2前		2		○			1					隔年開講
		環境・薬剤疫学特論	1・2後		2		○					1			隔年開講
		社会環境薬学演習	1・2後		2			○		2			1		隔年開講・オムニバス
小計 (20科目)		—	0	40	0	—			11	4	0	1	0	兼3	
医療薬学実習	実践的医療薬学演習	1・2前	2				○		3	1				隔年開講・共同 隔年開講・共同 (学内) 共同 (学外)	
	フィジカルアセスメント学内実習	1・2前	2					○	3	1					
	フィジカルアセスメント臨床実習	2後～3前	2					○	3	1					
	小計 (3科目)	—	4	2	0	—			3	1	0	0	0		
博士論文研究	課題研究	1～4通	12				○		10	4		1			
	小計 (1科目)	—	12	0	0	—			10	4	0	1	0		
合計 (25科目)		—	18	42	0	—			14	5	0	1	0	兼3	
学位又は称号		博士 (薬学)			学位又は学科の分野			薬学関係							
修 了 要 件 及 び 履 修 方 法							授 業 期 間 等								
<p>【修了要件】本課程に4年以上在学して所定の授業科目について30単位以上 (必修18単位・選択12単位以上) を修得し、且つ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>(1) 医療薬学講義について必修1科目、2単位を修得すること。</p> <p>(2) 高度専門科目の特論について4つの分野の中から5科目以上選択し、10単位以上修得すること。</p> <p>(3) 高度専門科目の演習について4つの分野の中から1科目以上選択し、2単位以上を修得すること。</p> <p>(4) 医療薬学実習について必修2科目、計4単位を修得すること。</p> <p>(5) 博士論文研究の必修12単位を修得すること。</p>							1学年の学期区分			2学期					
							1学期の授業期間			15週					
							1時限の授業時間			90分					